

PAT-NO: JP406339414A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 06339414 A

TITLE: STOPPING DEVICE FOR DRAWER

PUBLN-DATE: December 13, 1994

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

ROECK, ERICH

HOLLENSTEIN, HELMUT

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

JULIUS BLUM GMBH

COUNTRY

N/A

APPL-NO: JP03207242

APPL-DATE: July 25, 1991

INT-CL (IPC): A47B088/00, E05B065/44

ABSTRACT:

PURPOSE: To provide a stopping device for a drawer that can be drawn into the main body in a longer distance.

CONSTITUTION: A drawing rail 5 fixed in a drawer and a supporting rail 4 fixed in the main body like a piece of furniture are installed at both sides of a drawer. Load transporting rollers are provided between the rails 4, 5. A stopping device has driving parts 11, 21 that accept the spring function and a slot for accepting a top 14 that is fixed in a supporting rail 4. The driving parts 11, 21 can be slid along the rail 5. In the drawing direction and, the driving parts 11, 12 are fixed on sliders 10, 20 that are loaded by the springs 13, 25.

COPYRIGHT: (C)1994,JPO

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平6-339414

(43) 公開日 平成6年(1994)12月13日

(51) Int.Cl. ⁵	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
A 4 7 B 88/00	F	8409-3K		
E 0 5 B 65/44	B			

審査請求 未請求 請求項の数9 FD (全 7 頁)

(21) 出願番号 特願平3-207242

(22) 出願日 平成3年(1991)7月25日

(31) 優先権主張番号 A 1 6 0 7 / 9 0

(32) 優先日 1990年7月31日

(33) 優先権主張国 オーストリア (A T)

(71) 出願人 391013232

ユリウス・ブルム・ゲゼルシャフト・ミッ
ト・ベシュレンクテル・ハフツング
JULIUS BLUM GESELLS
CHAFT MIT BESCHRANK
TER HAFTUNG
オーストリア国 アー6973 ヘキスト、イ
ンドゥストリーシュトラッセ 1

(72) 発明者 エリッヒ・レーク

オーストリア国 アー6973 ヘキスト、キ
ュッフエルシュトラッセ 7

(74) 代理人 弁理士 萩野 平 (外3名)

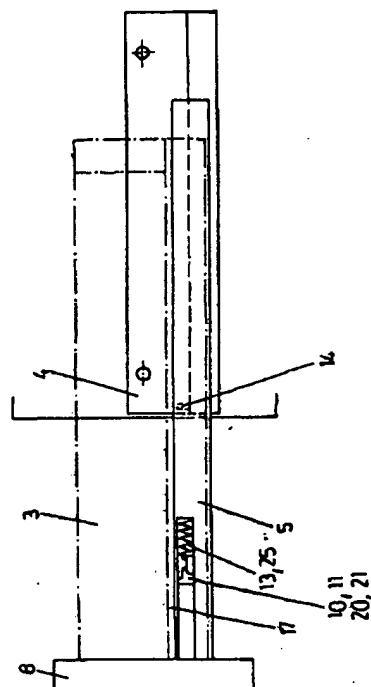
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 引き出し用閉止装置

(57) 【要約】

【目的】 引き出しがより長い距離にわたって本体内に引っ張られる引き出し用閉止装置を提供することにある。

【構成】 引き出しに取着された引き出しレール (5) および家具本体に取着された支持レール (4) が引き出しの各側に設けられる。負荷搬送ローラがレール (4, 5) の間に取り付けられる。閉止装置がばね作用を受ける枢動部分 (11, 21) になりかつ支持レバー (4) に取り付けられた突起 814, 22) 用の受容スロットを有する。枢動部分 (11, 21) が引き出しの引き出し方向に直線において引き出しレバー (5) に沿って摺動されることができる。前記枢動部分 81, 21) がばね (13, 25) により負荷されるスライド (10, 20) に取り付けられる。



1

2

【特許請求の範囲】

【請求項1】 引き出しに取着された引き出しレールおよび家具本体に取着された支持レールが引き出しの各側に設けられそして荷搬送ローラ等が前記レールにまたはそれらの間に取り付けられそして閉止装置がばね作用を受ける枢動部分および該枢動部分に捕捉する突起からなる引き出し用閉止装置において、前記枢動部分（11, 21）はスライド（10, 20）に取り付けられ、該スライドがばね（13, 25）により荷搬されかつ前記引き出しの引き出し方向に直線に摺動されることができ

10

ることを特徴とする引き出し用閉止装置。
【請求項2】 前記突起（14, 22）が前記本体側の支持レール（4）に成形されるかまたは取着され、これに反して前記スライド（10, 20）および前記枢動部分（11, 21）が前記引き出しに取り付けられることを特徴とする請求項1に記載の引き出し用閉止装置。

【請求項3】 前記枢動部分（11, 21）、前記スライド（10, 20）および前記ばね（13, 25）がハウジング（9, 19）に取り付けられることを特徴とする請求項1および/または2に記載の引き出し用閉止装置。

20

【請求項4】 前記ハウジング（9, 19）は引き出しレール（5）に取着されることを特徴とする請求項3に記載の引き出し用閉止装置。

【請求項5】 前記枢動部分（11, 25）が垂直軸線のまわりに回転させられることができかつ前記突起（14, 22）が垂直に整列されることを特徴とする請求項1ないし4の少なくとも1項に記載の引き出し用閉止装置。

【請求項6】 圧縮ばねである前記ばね（13, 25）が螺旋ばねとして設計されかつ案内ロッド（12, 24）に取り付けられることを特徴とする請求項1ないし5の少なくとも1項に記載の引き出し用閉止装置。

30

【請求項7】 前記枢動部分（11, 21）は突起（27）を有し、該突起はブラケット縁部（18）の後ろで前記ハウジング（9）の凹所（28）に達することを特徴とする請求項1ないし6の少なくとも1項に記載の引き出し用閉止装置。

【請求項8】 前記ハウジング（9, 19）は引き出しレール（5）の前方端に取り付けられることを特徴とする請求項3および/または4に記載の引き出し用閉止装置。

40

【請求項9】 前記ハウジング（9, 19）は引き出しレール外観内に取り付けられることを特徴とする請求項4に記載の引き出し用閉止装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明、引き出しに取着された引き出しレールおよび家具本体に取着された支持レールが引き出しの各側に設けられそして荷搬送ローラ等が前

50

記レールにまたはそれらの間に取り付けられそして閉止装置がばね作用を受ける枢動部分および該枢動部分に捕捉する突起からなる引き出し用閉止装置に関する。

【0002】

【従来の技術】 最近の引き出しは延長案内金具を備えており、該金具は引き出しの両側に本体側支持レールおよび引き出し側引き出しレールからなりかつ出来るだけ容易に引き出しの摺動運動を行うようにする。引き出し側引き出しレールと本体側支持レールとの間で荷搬を送するために、ローラ、球または同様にスライドが設けられることができ、それに依存して走行および荷搬の滑らかさに対して条件が引き出しに付与される。

【0003】 多くの場合において閉止された引き出しが本体内に結果として生じる後方端位置に完全に移動されずかつ家具の本体からそれらの前方パネルにより突出することが示された。その結果誰かが引き出しに衝突し、順次人が怪我をしかつ引き出しが損傷するという状態を生じる。

【0004】 家具の前方からの引き出しの前方パネルの突出は引き出しが不注意に押し出されかつ家具の本体内に完全にない結果を生じる。しかし引き出しが家具の本体内にあまりにも大きいエネルギーで押されたとしても、引き出しは過度のエネルギーのために再び前方に回転することができる。

【0005】 引き出し用係止装置はイギリス特許第1, 117, 071号から知られており、該装置において2つの端位置間で移動されることができる枢動部材が設けられる。該枢動部材は螺旋ばねにより荷搬しておりかつ死点を乗り越えた後前記ばねによつてそれぞれの端位置に押される。枢動部材は家具の側壁に取着される。引き出しは側壁で引き出しの走行通路の端部区域において枢動部材のスロット内に移動される突起を有する。最後に、突起は死点位置を越えて枢動部材を押し、そこで枢動部材自体は突起をかつしたがって引き出しを後方に引っ張る。

【0006】

【発明が解決すべき課題】 上述のごとく、従来、閉止された引き出しが後方端位置に完全に移動されず、家具本体の前方パネルから突出するという問題があつた。

【0007】 本発明の目的は引き出しが本体内により長い距離にわたって引っ張られる閉止装置を提供することにある。そのようにすることにおいて、引き出しはできるだけ均一に引っ張られることができる。本発明の他の目的は空間を節約するように引き出しに取り付けられることができるこの種の閉止装置を提供することにある。

【0008】

【課題を解決するための手段】 これは、本発明によれば、枢動部分はスライドに取り付けられ、該スライドがばねにより荷搬されかつ前記引き出しの引き出し方向に直線に摺動されることができることにより達成される。

【0009】好都合な方法において枢動部分、スライドおよびばねはハウジングに取り付けられることが提供される。かかるハウジングは引き出しレールに簡単にかつ迅速に取着されることができる。

【0010】ハウジングは好都合な方法において引き出しレールの前方端に取着される。この方法において、枢動部材は、欠点のある枢動があるならば、容易に接近できる。引き出しレールがU外観を有するならば、ハウジングはレールの外観内に好都合に取り付けられる。

【0011】以下に本発明の2つの実施例を添付図面の各図を参照して説明する。

【0012】

【実施例】図9は引き出しおよび引き出しキャビネットの要部、すなわち、本体側壁1、本体底部6、引き出し底部2、2つの引き出し側壁3および引き出しフレームの下方区域に配置された引き出しレール5、引き出し後壁7および本体側壁1に取着された支持レール4を示す。

【0013】引き出しレール5は通常の方法において引き出し側壁3に取着される。

【0014】閉止装置は各引き出しレール5の前方端に配置される。閉止装置の重要な部分はハウジング9、19、枢動レバー11、21、スライド10、20、ばね13、25および案内ロッド12、24である。これらの部分は引き出しまたは引き出しレバー5に取り付けられる。この実施例においてばね13、25は圧縮ばねである。

【0015】ボルト14または22は支持レール4に配置される。

【0016】図3、図4および図7による実施例において枢動部分11は垂直軸15のまわりに回転されることができる。枢動レバー11は、閉止装置が応力下に置かれるとき、ボルト縁部18の後ろの凹所29に係止する突起27を有する。この位置は図3に示される。そのようにすることにおいて、引き出しが開放される。引き出しが右方に移動されるならば、枢動レバー11はそれが支持レール4に取着される突起14に衝突するまでその位置に留まる。この方法において枢動レバー11は反時計回り方向に回転させられかつ突起27は凹所28内のその係止位置から移動される。この段階において圧縮ばね13は左方へハウジング9に対して枢動レバー11とともにスライド10を動かすことができる。しかしながら、それは相対的な運動を伴い、すなわち、枢動部分11が突起14においてスライド10により支持されかつばね13は前方パネル8が本体側壁1の面に対して衝突するまで家具本体内に右方にハウジング9かつしたがって引き出し全体を押す。

【0017】引き出しが開放される、すなわち、図4に示した位置から左方に動かされるならば、スライド10および枢動レバー11の位置は凹所28が突起27と同

一高さになるまで変わらない。そのようにすることにより、ばね13は締め付けられる。凹所18が突起27に達するならば、枢動部分は時計回りに回転されかつ突起14は解放される。

【0018】この段階において引き出しはばねの力を克服すべきことなく自由に引っ張られることができる。

【0019】図5、図6および図8による実施例は同一原理により作用し、枢動部分21のみが水平軸26のまわりに枢動される。枢動部分21は再び直線上に、すなわちハウジング19内で直線において移動されることができかつ圧縮ばね25により負荷されるスライド20に載置する。引き出しが閉止される(図6)とき、圧縮ばね25は緩められかつ枢動部分21は本体レール4に取着される突起22を封入する。

【0020】引き出しが開放されるならば、枢動部分21およびスライド20は突起22に留まり、一方圧縮ばね25は締め付けられる。

【0021】しかしながら、凹所28が枢動部分21の上方の突起27の上方にあるならば、枢動部分21は圧縮ばねの作用にしたがつて反時計回り方向に回転させられ、その結果突起27は該突起の上方に配置された凹所28内に突出しかつボルト縁部23に衝突する。

【0022】突起22はかくして解放されかつ引き出しは障害なしに引き出されることができる。

【0023】引き出しが閉止されるとき、同一作動が上述した実施例による場合におけるように行われる。すなわち、枢動部分21はそれが家具本体内で突起22に達するまで図5に示した位置に留まる。引き出しがさらに家具本体内に押されるならば、枢動部分21は回転させられかつ突起はボルト縁部23を通して凹所28から摺動する。この段階において圧縮ばね25はハウジング19をかつしたがって引き出しレール5および引き出し全体を家具の本体内に押し込む。

【0024】ハウジング9または19は両突起を備えることができかつ打ち出しにおいて引き出しレール5に嵌まり込むかまたは同様に引き出しレール5の逆に打ち出された舌片が再び係止する凹所を有することができる。

【0025】もちろん、圧縮ばね25はハウジング9、19での代わりに引き出しレール5の打ち出された舌片で強化されることができる。同様に案内ロッド12、24はかかる舌片内に案内されることができる(図5、6参照)。

【0026】

【発明の効果】以上説明したように、本発明は、枢動部分がスライドに取り付けられ、該スライドがばねにより負荷されかつ前記引き出しの引き出し方向に直線に摺動されることができる構成としたので、引き出しがより長い距離にわたって引っ張られることができる引き出し用閉止装置を提供することができる。

【図面の簡単な説明】

5

6

【図1】本発明による閉止装置を備えた引き出しを開放位置で示す側面図である。

【図2】同一の引き出しを閉止位置において示す側面図である。

【図3】開放された引き出しを有する閉止装置の領域において引き出しレールおよび家具本体の1部分を示す水平断面図である。

【図4】閉止された引き出しを有する図3と同様な水平断面図である。

【図5】開放位置において本発明の第2実施例の閉止装置の領域において引き出しレールを示す垂直断面図である。

【図6】閉止位置において示す図5と同一の垂直断面図である。

【図7】図3の線A-Bに沿う断面図である。

【図8】図5の線F-Fに沿う断面図である。

【図9】引き出しの断面図である。

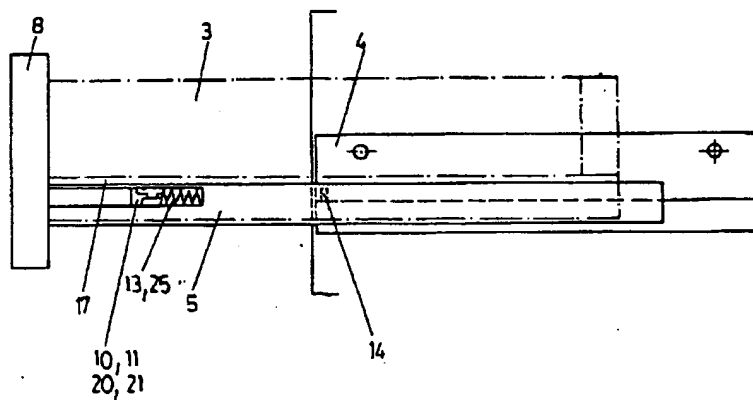
【図10】本発明の実施例を示す分解概略図である。

【図11】本発明の実施例を示す分解概略図である。

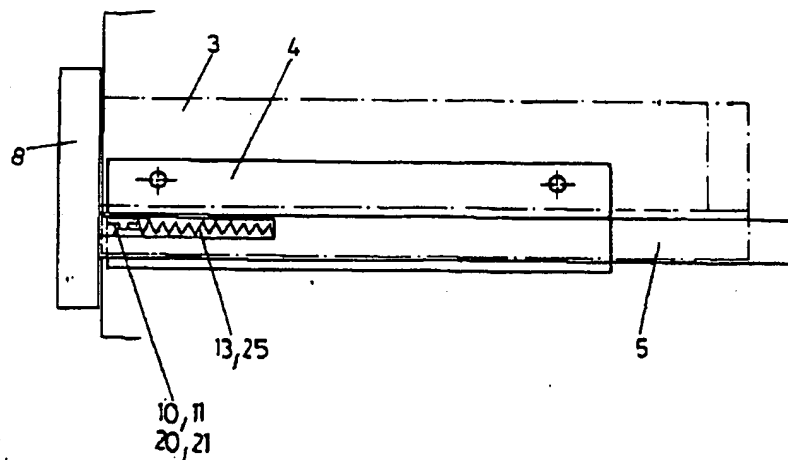
【符号の説明】

- 4 支持レール
- 5 引き出しレール
- 9ハウジング
- 10 スライド
- 11 枢動部分(枢動レバー)
- 12 案内ロッド
- 13 ばね
- 14 突起
- 19ハウジング
- 20 スライド
- 21 枢動部分
- 22 突起
- 24 案内ロッド
- 25 ばね
- 27 突起
- 28 凹所

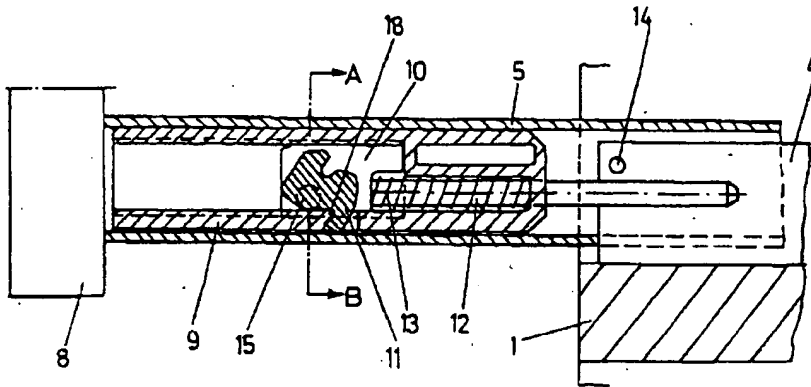
【図1】



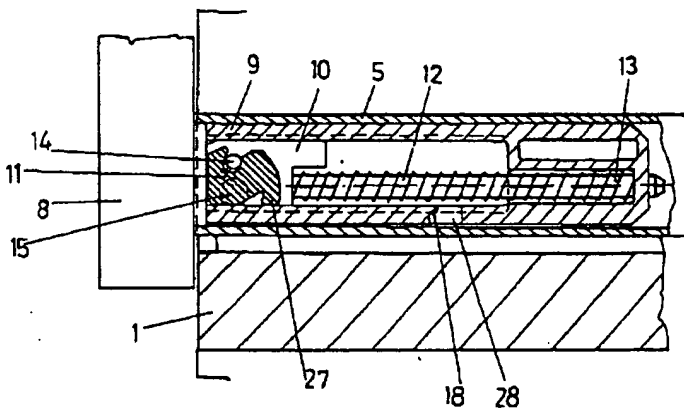
【図2】



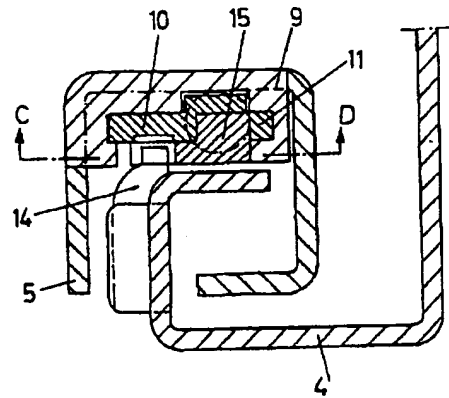
【図3】



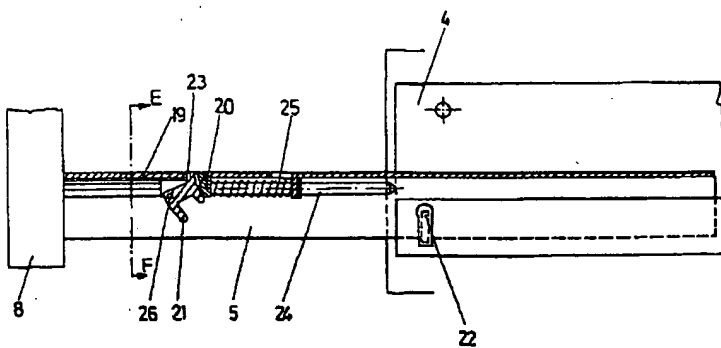
【図4】



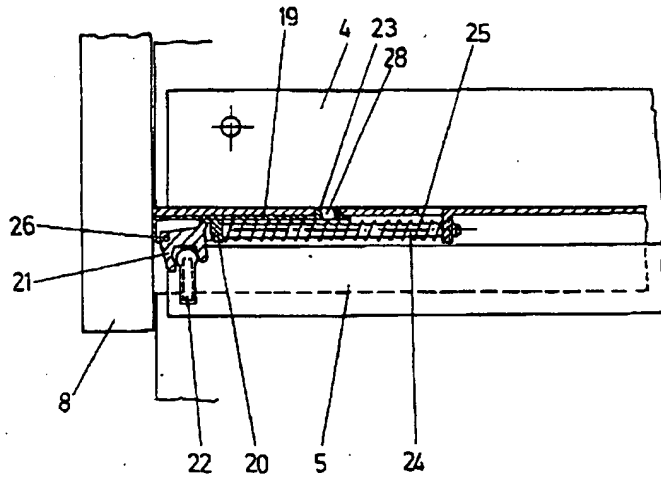
【図7】



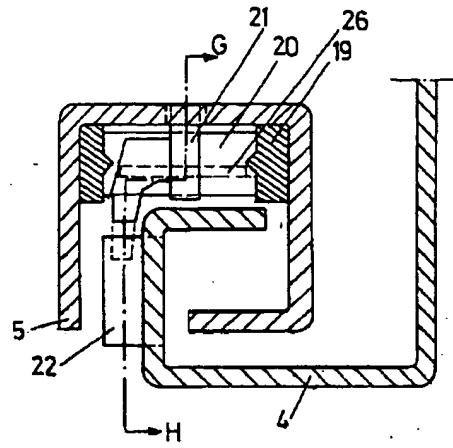
【図5】



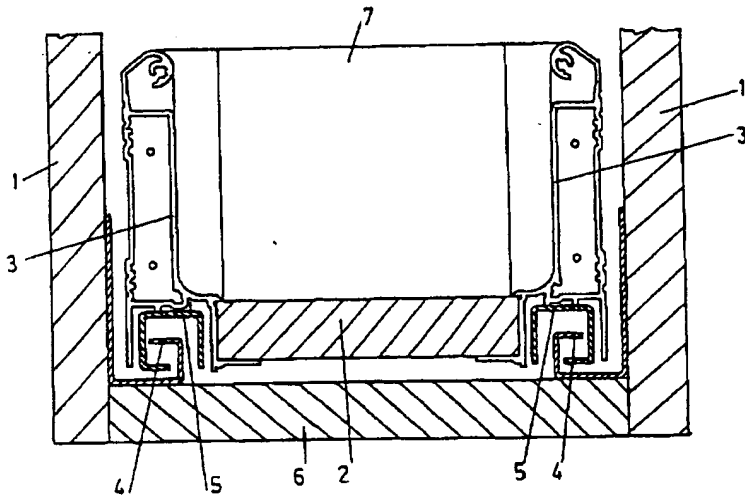
【図6】



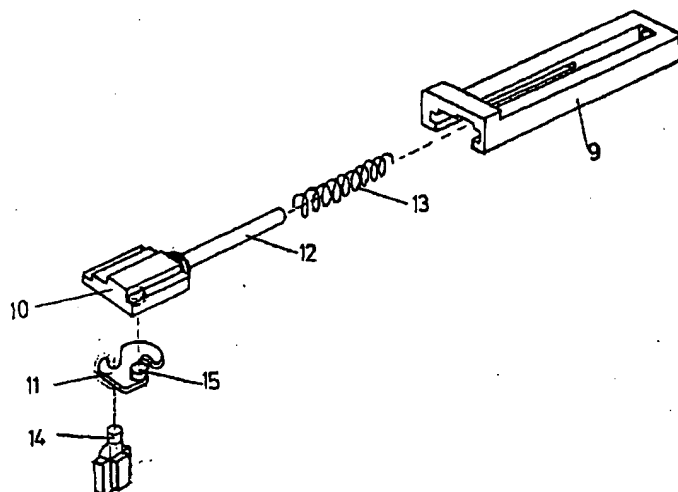
【図8】



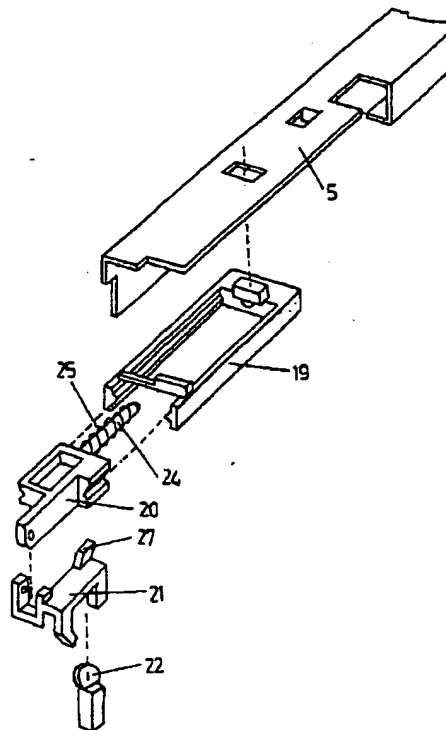
【図9】



【図10】



【図11】



フロントページの続き

(72)発明者 ヘルムート・ホッレンシュタイン
 オーストリア国 アー6890 ルステナウ、
 ビルトガッセ 7